

第 37 回日本整形外科学会骨軟部腫瘍学術集会 (2004. 7. 16 東京)

中山富貴、坪山直生、戸口田淳也、中村孝志：未分化紡錘・多形細胞肉腫に対する化学療法の有効性。

第 37 回日本整形外科学会骨軟部腫瘍学術集会 (2004. 7. 16 東京)

戸口田淳也、石部達也、長山聡、中山富貴、片桐豊雅、中村祐輔：

骨軟部腫瘍における分子標的治療の開発。

第 63 回日本癌学会総会 (2004. 9. 29 福岡)

福川千香子、長山聡、片桐豊雅、戸口田淳也、中村祐輔：

滑膜肉腫において高発現する遺伝子 FZD10 の機能解析およびその抗体の治療への応用。

第 63 回日本癌学会総会 (2004. 9. 29 福岡)

長山聡、井元清哉、片桐豊雅、中山富貴、下平英寿、ローレンス ミッチェル、宮野悟、戸口田淳也、中村祐輔：

遺伝子発現プロファイルに基づいた軟部肉腫の分子生物学的新分類の構築。

第 63 回日本癌学会総会 (2004. 9. 29 福岡)

西庄功一、中山富貴、青山朋樹、石部達也、嶋靖子、柴田弘太郎、坪山直生、中村孝志、戸口田淳也：

骨肉腫における RECQL4 遺伝子の変異解析。

第 63 回日本癌学会総会 (2004. 9. 29 福岡)

石部達也、中山富貴、岡本健、長山聡、青山朋樹、西庄功一、柴田弘太郎、ロバーツ、嶋靖子、中村孝志、戸口田淳也：

治療標的分子としての滑膜肉腫における FGF シグナル伝達系。

第 63 回日本癌学会総会 (2004. 9. 29 福岡)

戸口田淳也、西庄功一、長山聡、中山富貴、中村孝志：

遺伝子発現プロファイリングによる肉腫における病態進行関連遺伝子の探索。

第 19 回日本整形外科学会基礎学術集会

(2004. 10. 21 東京)

石部達也、中山富貴、岡本健、長山聡、中村孝志、戸口田淳也：

滑膜肉腫における神経組織関連遺伝子の発現とレチノイン酸による分化誘導。

第 19 回日本整形外科学会基礎学術集会

(2004. 10. 22 東京)

中山富貴、坪山直生、戸口田淳也、宮崎真紀、平松英文、水嶋康浩、松原央、小林道弘、足立壮一、中畑龍俊、中村孝志：

四肢骨肉腫に対する VP-16 を併用した化学療法の治療成績。

第 42 回日本癌治療学会 (2004. 10. 27 京都)

足立壮一、今井剛、渡部基信、松原央、水嶋康浩、西庄功一、中山富貴、木村晋也、戸口田淳也、中畑龍俊：

肉腫に対する新規治療。

第 42 回日本癌治療学会 (2004. 10. 27 京都)

Toguchida, J., Nagayama, S., Imoto, S., Nakayama, T., Nishijo, K., Ishibe, T., Shima, Y., Nakamura, T., Katagiri, T., Nakamura, Y.:

Molecular signatures for malignant profiles of spindle cell sarcomas of soft part. 10th CTOS (2004. 11. 12 Montreal)

Ishibe, T., Nakayama, T., Okamo, T., Aoyama, T., Nishijo, K., Nagayama, S., Nakamura, T., Toguchida, J.:

Fibroblast growth factor signals as a Potent molecular targets in synovial sarcoma. 10th CTOS (2004. 11. 13 Montreal)

吉田行弘、大幸俊三、大幸英至、杉田秀幸、龍順之助：悪性骨軟部腫瘍切除後における至適再建法の選択と問題点。

第 37 回日本整形外科学会骨軟部腫瘍学術集会、東京、2004、7

杉田秀幸、大幸俊三、鳥山正人、鈴木仁、栗原友介、富沢義宏、大幸英至、吉田行弘、龍順之助：下腿遠位および足部悪性軟部腫瘍における機能的再建。第 37 回日本整形外科学会骨軟部腫瘍学術集会、東京、2004、7

大幸英至、吉田行弘、近藤 理、杉田秀幸、鳥山正人、鈴木仁、栗原友介、富沢義宏：手部に発生した悪性骨軟部腫瘍における患肢温存の意義。第37回日本整形外科学会骨軟部腫瘍学術集会、東京、2004、7

吉田行弘、龍順之助：小児悪性骨腫瘍に対する患肢温存法、第42回癌治療学会、京都、2004、11（パネルディスカッション）

吉田行弘、大幸俊三、大幸英至、杉田秀幸、松崎英剛、龍順之助：脛骨近位悪性骨腫瘍に対する膝伸展機構の再建方法。第53回東日本整形災害外科学会、山形、2004、9

塚原智英、和田卓郎 他：骨肉腫に対する免疫療法の開発。第19回日本整形外科学会基礎学術集会、東京都、2004年10月21日

和田卓郎 他：再建術の最前線、第42回日本癌治療学会総会シンポジウム、京都、2004年10月27日

合田猛俊、井須和男：骨軟部腫瘍切除後のMicrosurgeryを用いた再建術。第106回北海道整形災害外科学会（2004年1月24日～25日）

大坪英則、井須和男：上腕に発生したOssifying Fibromyxoid Tumorの1例。第106回北海道整形災害外科学会（2004年1月24日～25日）

西田恭博、井須和男：脱分化形軟骨肉腫の治療経験。第106回北海道整形災害外科学会（2004年1月24日～25日）

合田猛俊、井須和男：骨腫瘍搔爬後の欠損に対する吸収性骨補填材料の使用経験。骨軟部吸収性材料フォーラム2004（2004年3月20日）

合田猛俊、井須和男：上腕骨悪性腫瘍の治療。第47回日本手の外科学会学術集会（2004年4月22、23日）

井須和男：悪性軟部腫瘍進行例に対するepirubicin、ifomide併用療法の試行経験。第107回北海道整形災害外科学会（2004年8月7日～8日）

石井猛、舘崎慎一郎、他：軟部肉腫肺転移巣切除例の治療成績。第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会（2004.7.15-16、東京）〔日本整形外科学会雑誌、78：S639、2004.〕

米本司、舘崎慎一郎、他：骨肉腫生存者における化学療法晩期合併症：性腺機能と二次がんについて。第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会（2004.7.15-16、東京）〔日本整形外科学会雑誌、78：S641、2004.〕

岩田慎太郎、舘崎慎一郎、他：脛骨近位部骨腫瘍切除後の膝伸展機構再建法：Fibula transposition法を用いて。第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会（2003.7.15-16、東京）〔日本整形外科学会雑誌、78：S629、2004.〕

石井猛、舘崎慎一郎、他：非小円形肉腫に対する化学療法の効果：特に滑膜肉腫に対する化学療法の効果。第53回東日本整形災害外科学会（2004.9.24-25、山形）〔東日本整形災害外科学会雑誌、16：444、2004.〕

米本司、舘崎慎一郎、他：転移性脊椎腫瘍における放射線治療の役割。第53回東日本整形災害外科学会（2004.9.24-25、山形）〔東日本整形災害外科学会雑誌、16：350、2004.〕

竹内慶雄、舘崎慎一郎、他：ダウン症候群に骨肉腫を合併した1例。第53回東日本整形災害外科学会（2004.9.24-25、山形）〔東日本整形災害外科学会雑誌、16：500、2004.〕

山田健志、高橋 満 他  
成人例骨原発小円形細胞肉腫に対する治療、第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 平成16年7月15日

Katagiri H, Takahashi M et al.  
Palliative Intra-arterial Infusion Chemotherapy and Radiotherapy for Nonoperable Bone and Soft Tissue Sarcoma. 第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会 平成16年7月16日

杉浦英志、高橋 満 他  
再発軟部肉腫に対する広範切除術一切除縁と術後の予後—  
第37回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会

平成 16 年 7 月 16 日

H. 知的財産権の出願・登録状況

平成 14 年度

特許取得

SYT-SSX ペプチド

平成 15 年度

ヒストンデアセチラーゼ阻害剤の医薬用途の特許  
(軟部肉腫への使用) を出願した  
(2003 年 6 月 27 日)。

特許取得

K9I ペプチド (申請中)

平成 16 年度

「ヒストンデアセチラーゼ阻害剤 (特に FK228)  
軟部肉腫 (特に滑膜肉腫) に対する用途特許」  
日本出願 (平成 15 年 6 月 27 日、  
出願番号: 特願 2003-183643)

当該用途特許の PCT による国際出願  
(平成 16 年 6 月 11 日) とアメリカへ同時に  
出願した (平成 16 年 6 月 29 日)。

## Ⅱ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
岩本幸英	悪性骨・軟部腫瘍の化学療法	二ノ宮節夫 他編	今日の整形外科治療指針	医学書院	東京	2004	198-201
岩本幸英	全身性疾患 第3章 骨・軟部腫瘍	杉岡洋一 監修, 岩本幸英 編集	神中整形外科学改訂22版, 上巻	南江堂	東京	2004	571-694
山口洋 (分担執筆)	軟部腫瘍		がん化学療法看護2004年度版	南江堂	東京	2004	
井須和男	神経芽細胞腫、脊索腫	二ノ宮節夫 他編	今日の整形外科治療指針第5版	医学書院	東京	2004	229
松本誠一、川口智義他	脂肪肉腫	二ノ宮節夫 他編	今日の整形外科	医学書院	東京	222	2004
川口智義	骨軟部腫瘍	川口智義 [編]	整形外科専門医を目指すケース・メソッド・アプローチ (5)	日本医事新報社	東京	2004	273
松本誠一、川口智義他	悪性線維性組織球腫	二ノ宮節夫 他編	今日の整形外科	医学書院	東京	2004	221-222
真鍋 淳、川口智義他	恥骨・座骨の悪性腫瘍の手術	岩本幸英 [編]	新OS Now No. 19	メジカルビュー社	東京	2003	18-25
中谷文彦、田仲和宏、岩本幸英 (分担執筆)	骨・軟部腫瘍の融合遺伝子と発症機構 EWS-Fli1 融合遺伝子を中心に	中村孝志 (編集)	別冊整形外科43 骨・軟部腫瘍の診断と治療	南江堂	東京	2003	2-6
松本嘉寛、田仲和宏、岩本幸英他 (分担執筆)	悪性骨・軟部腫瘍における間質金属プロテイナーゼ (MMF) の働き	中村孝志 (編集)	別冊整形外科43 骨・軟部腫瘍の診断と治療	南江堂	東京	2003	49-53
松延知哉、田仲和宏、岩本幸英 (分担執筆)	骨原発 Ewing 肉腫の化学療法とその成績	中村孝志 (編集)	別冊整形外科43 骨・軟部腫瘍の診断と治療	南江堂	東京	2003	94-99
田仲和宏、岩本幸英 (分担執筆)	末梢血管細胞移植術の適応と成績	中村孝志 (編集)	別冊整形外科43 骨・軟部腫瘍の診断と治療	南江堂	東京	2003	213-217
岩本幸英	骨肉腫	大関武彦、 他 (編集)	今日の小児治療指針 第13版	医学書院	東京	2003	556-557
岩本幸英	骨・軟部腫瘍の診断と治療	平澤泰介、 他 (編集)	先端医療シリーズ22整形外科 整形外科の最新医療	先端医療技術研究所	東京	2003	302-305

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
播広谷勝三、 岩本幸英 (分担執筆)	仙骨・脊索腫の手術	岩本幸英、 他(編集)	新OS NOW 新世代の整形外科手術 No.19	メジカルビュー社	東京	2003	34-39
岩本幸英	画像診断、 読影法、骨、関節、 軟部組織の読影法の基本、 骨腫瘍の鑑別の基本	長野昭、 岩本幸英 (編集)	ゴールドスタンダード 整形外科診断・検査・ 画像診断	南江堂	東京	2003	303-322
岩本幸英	悪性骨・軟部腫瘍の化学療法	二ノ宮節夫 他(編集)	今日の整形外科治療指針	南江堂	東京	2004	198-201
中馬広一	骨盤内の軟部悪性腫瘍の手術	岩本幸英、 他(編集)	新OS NOW 新世代の整形外科手術、No.19	メジカルビュー社	東京	2003	45-55
中馬広一	悪性骨・軟部腫瘍の治療	日本臨床腫瘍学会編	臨床腫瘍学	癌と化学療法社	東京	2003	842-860
長山聡、 戸口田淳也 他	cDNA マイクロアレイ 遺伝子発現解析による軟部肉腫分類の試み	中村孝志 (編集)	別冊整形外科43 骨・軟部腫瘍の診断と治療	南江堂	東京	2003	84-88
名越智、 和田卓郎	腸骨の悪性骨腫瘍に対する手術	岩本幸英、 他(編集)	新OS NOW 新世代の整形外科手術 No.19	メジカルビュー社	東京	2003	10-17
谷澤泰介、 川口智義 他	骨肉腫における術前画像効果判定の対比および切除縁縮小の可能性の検討	中村孝志 (編集)	別冊整形外科43 骨・軟部腫瘍の診断と治療	南江堂	東京	2003	177-180
播広谷勝三、 岩本幸英 (分担執筆)	原発性悪性骨腫瘍	浦部晶夫、 他(編)	今日の処方第3版	南江堂	東京	2002	680-682
播広谷勝三、 岩本幸英 (分担執筆)	四肢悪性軟部腫瘍	浦部晶夫、 他(編)	今日の処方第3版	南江堂	東京	2002	682
播広谷勝三、 岩本幸英 (分担執筆)	癌の骨転移	浦部晶夫、 他(編)	今日の処方第3版	南江堂	東京	2002	682-683
松田秀一、 岩本幸英 (分担執筆)	高齢者の悪性骨軟部腫瘍に対する手術	岩本幸英、 他(編)	新OS NOW 新世代の整形外科手術、No.13	Medical View社	東京	2002	165-173
岩本幸英 (分担執筆)	骨の悪性腫瘍・軟部肉腫	垣添忠生 (総監修)、 村上彰二 (編)	別冊NHK きょうの健康 これだけは知っておきたい がんの情報、 がんの治療	日本放送出版協会	東京	2002	94-99

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kawaguchi K, Iwamoto Y, et al.	Decreased expression of transforming growth factor- <i>B</i> II receptor is associated with that of p27KIP1 in giant cell tumor of bone: A possible link between transforming growth factor- <i>B</i> and cell cycle-related protein.	Hum Pathol	35	61-68	2004
Takahira T, Iwamoto Y, et al.	Microsatellite instability and p53 mutation associated with tumor progression in dermatofibrosarcoma protuberans.	Hum Pathol	35	240-245	2004
Saito T, Iwamoto Y, et al.	PTEN and other tumor suppressor gene mutations as secondary genetic alterations in synovial sarcoma.	Oncology Reports	11	1011-1015	2004
Matsunobu T, Iwamoto Y, et al.	The prognostic and therapeutic relevance of p27kip1 in Ewing's family tumors.	Clin. Cancer Res	10	1003-1012	2004
Oda Y, Iwamoto Y, et al.	Low-grade fibromyxoid sarcoma versus low-grade Myxofibrosarcoma in the extremities and trunk. A comparison of clinicopathological and immunohistochemical features	Histopathology	45	29-38	2004
Takahira T, Iwamoto Y, et al.	Alterations of the p16 <sup>INK4a</sup> /p14 <sup>ARF</sup> pathway in clear cell sarcoma	Cancer Sci	95(8)	651-655	2004
Kawaguchi K, Iwamoto Y, et al.	Death-Associated Protein Kinase (DAP Kinase) Alteration in Soft Tissue Leiomyosarcoma: Promoter Methylation or Homozygous Deletion Is Associated With a Loss of DAP Kinase Expression	Hum Pathol	35(10)	1266-1271	2004
Saito T, Iwamoto Y, et al.	E-cadherin mutation and Snail overexpression as alternative mechanisms of E-cadherin inactivation in synovial sarcoma	Oncogene	23	8629-8638	2004
細川哲、岩本幸英 他	当科における手の腫瘍症例の検討	災害外科と整形外科	53	166-169	2004
泉貞有、岩本幸英 他	脛腓骨同時発生の osteofibrous dysplasia の 1 例	診断病理	21(3)	251-253	2004
Kuwano M, Iwamoto Y, et al.	The role of nuclear Y-box binding protein 1 as a global marker in drug resistance	Mol Cancer Ther	3(11)	1485-1492	2004
岩本幸英	癌の骨転移の診断における Pitfalls	骨・関節・靭帯	17(4)	406-408	2004

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
岩本幸英	第 76 回日本整形外科学会学術総会シンポジウム「私の患肢温存手術」序文	日整会誌	78	143-145	2004
松延知哉、岩本幸英	原発性骨腫瘍	THE BONE	18(5)	47-52	2004
岩本幸英	骨軟部腫瘍の基本戦略と目標	日本医師会雑誌	132(7)	989-991	2004
田仲和宏、岩本幸英	Ewing 肉腫の発癌機構と分子標的治療	整形外科	55(10)	1322	2004
Yamaguchi U, Chuman H, et al.	Differential diagnosis of gastrointestinal stromal tumor and other spindle cell tumors in the gastrointestinal tract based on immunohistochemical analysis.	Virchows Arch	445	142-150	2004
Yamaguchi U, Chuman H, et al.	Interobserver variability in histologic recognition, interpretation of KIT immunostaining and determining MIB-1 labeling indices in gastrointestinal stromal tumors and other spindle cell tumors of the gastrointestinal tract.	Appl Immunohistochem Mol Morphol		In press	
川井章、中馬広一 他	淡明細胞軟骨肉腫	整形外科	54 (7)	828-829	2003
中馬広一	進行性再発骨軟部肉腫に対する化学療法の現状	癌と化学療法	31 (9)	1331-1339	2004
山口洋、長谷川匡	軟部肉腫の病理診断と治療 (特集)	癌と化学療法	31 (9)	1340-1345	2004
川井章、中馬広一 他	がん骨転移の疫学 (特集)	骨・関節・靭帯	17 (4)	363-367	2004
川井章、中馬広一 他	シンポジウム 高齢者骨・軟部腫瘍の治療 高齢者骨・軟部腫瘍の治療成績－わが国の現状－	日本整形外科学会雑誌	78	377-381	2004
Asano N,Uchida A, et al.	The expression and prognostic significance of bone morphogenetic protein-2 in patients with malignant fibrous histiocytoma.	J Bone Joint Surg	86B	607-612	2004
Matsumine AUchida A, et al.	Calcium hydroxyapatite ceramicimplants in bone tumor surgery	J Bone Joint Surg	86B	719-725	2004
Asanuma K ,Uchida A, et al.	Thrombin Inhibitor, Argatroban, Prevents Tumor Cell Migration and Bone Metastasis	Oncology	67	166-173	2004
Kudawara I,Uchida A, et al.	New cell lines chondrocytic phenotypes from human chondrosarcoma	Virchow Arch	444	577-586	2004
Uchida A, et al	Metastatic bone disease: pathogenesis and strategies for treatment	J Orthop Sci	9	415-420	2004



発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Fukuda A, Uchida A, et al.	Metastasis of malignant peripheral nerve sheath tumor to free vascularized myocutaneous flap	Oncol Rep	13	295-297	2005
Yoshida K, Uchida A, et al.	Periosteal Ewing's sarcoma treated by photodynamic therapy with acridine orange	Oncol Rep	13	279-282	2005
Ochi, K, Yoshikawa, H., et al	Prediction of response to neoadjuvant chemotherapy for osteosarcoma by gene-expression profiles.	Int J. Oncol	24	647-655	2004
Sakaura, H., Yoshikawa, H., et al.	Outcome of total en bloc spondylectomy for solitary metastasis of the thoracolumbar spine.	J. Spinal Disord and Tech	17	297-300	2004
Kudawara, I., Yoshikawa, H., et al.	Synovial sarcoma after chemotherapy for osteosarcoma.	Clin Orthop and Related Research	418	198-201	2004
Asano N., Yoshikawa H., et al.	The expression and prognostic significance of bone morphogenetic protein-2 in patients with malignant fibrous histiocytoma.	J Bone Joint Surg	86 B	607-612	2004
Yoshikawa H., et al.	Bone morphogenetic proteins in bone tumors.	J Orthop Sci	9	334-340	2004
Fang, Z., Yoshikawa, H., et al	Postradiation soft tissue sarcoma: a multiinstitutional analysis of 14 cases in Japan.	J Orthop Sci	9	242-246	2004
Nakanishi, H., Yoshikawa, H., et al.	Myxoid Liposarcoma With Adipocytic Maturation: Detection of TLS/CHOP Fusion Gene Transcript.	Diagn Mol Pathol	13	92-96	2004
Nakanishi, H., Yoshikawa, H., et al.	Skeletal metastasis in patients with gastric cancer.	Clin Orthop and Related Research,	423	208-212	2004
Higashiyama, M., Yoshikawa, H., et al.	Surgical treatment of bone metastasis followed by a primary lung cancer lesion: report of a case.	Surgery Today,	34	600-605	2004
Ida, K., Yoshikawa, H., et al.	Crisscross CTL induction by SYT-SSX junction peptide and its HLA-A*2402 anchor substitute.	J Immunol	173	1436-1443	2004
Kudawara, I., Yoshikawa, H., et al.	New cell lines with chondrocytic phenotypes from human chondrosarcoma.	Virchows Archives,	444	577-586	2004
Matsumine, A., Yoshikawa, H., et al.	Calcium hydroxyapatite ceramic implants in bone tumor surgery.	J Bone Joint Surg	86B	719-725	2004

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Nakanishi, H., Yoshikawa, H., et al.	IL-6/soluble IL-6R signaling attenuates proliferation and invasion, and induces morphological changes of a newly established pleomorphic malignant fibrous histiocytoma.	Am J Pathol	165	471-480,	2004
名井陽、吉川秀樹 他	骨盤類骨骨腫に対するナビゲーションを利用した小侵襲切除術.	整形外科	55	1466-1467	2004
名井陽、吉川秀樹 他	骨腫瘍. NEW MOOK	整形外科	15	193-204	2004
Umehara N, Ozaki T, et al.	Influence of telomerase activity on bone and soft tissue tumors.	J Cancer Res Clin Oncol,	130	411-416	2004
Ozaki T, Wai D, et al.	Comparative genomic hybridization in cartilaginous tumors.	Anticancer Res,	24	1721-1725	2004
Ito T, Ozaki T, et al.	SYT, a partner of SYT-SSX oncoprotein in synovial sarcomas, interacts with mSin3A, a component of histone deacetylase complex.	Lav Invest		in press	
Ito T, Ozaki T, et al.	Significant growth suppression of synovial sarcomas by the histone deacetylase inhibitor FK228 in vitro and in vivo.	Cancer Letters		in press	
尾崎敏文	Topics マイクロアレイ CGH.	医学のあゆみ	209	187-188	2004
沼本邦彦, 尾崎敏文 他	当科における軟骨肉腫の治療成績	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	47	157-158	2004
大畑範英, 尾崎敏文 他	当科における腹壁外デスマイドの治療成績.	中部日本整形外科災害外科学会雑誌,	47	143-144	2004
中川寧子, 尾崎敏文 他	孤立性骨嚢腫の治療成績	中部日本整形外科災害外科学会雑誌,	47	141-142	2004
武田健, 尾崎敏文 他	腫瘍切除後、加温骨処理を行った症例	中部日本整形外科災害外科学会雑誌,	47	1065-1066	2004
尾崎敏文, 濱田全紀 他	AI 回転形成術術後のリハビリテーションマニュアル	整形外科	55	1479-1482	2004
Ishibe T., Toguchida, J,et al.	Disruption of fibroblast growth factor signal pathway inhibits the growth of synovial sarcomas: potential application of signal inhibitors to molecular target therapy.	Clin. Cancer Res.,		in press	

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Nagayama, S., Toguchida, J,et al.	Identification of <i>PDZK4</i> , a novel gene with PDZ domains, that is upregulated in synovial sarcomas.	Oncogene	23	5551-5557	2004
戸口田淳也、 長山聡 他	滑膜肉腫の細胞起源	骨・関節・ 靭帯	17	145-148	2004
中山富貴、 戸口田淳也 他	骨軟部腫瘍における融合遺伝子解析の有用性	中部整災誌	46	1065-1066	2004
Nakanishi H, Araki N, et al.	Interleukin-6 / soluble interleukin-6 receptor signaling attenuates proliferation and invasion, and induces morphological changes of a newly established pleomorphic malignant fibrous histiocytoma cell line.	Am J Pathol	165	471-480	2004
Nakanishi H, Araki N,et al.	Clinical implications of serum C-reactive protein levels in malignant fibrous histiocytoma.	Int J Cancer	99	167-170	2002
Fujibe M, <u>Wada T</u> , at al.	Thr(203) of claudin-1, a putative phosphorylation site for MAP kinase, is required to promote the barrier function of tight junctions.	Exp Cell Res	295	36-47	2004
Oshima Y, Wada, T, at al.	Abdominal small round cell tumor with osteoid and EWS/FLI1.	Hum Pathol	35	773-775	2004
Wada, T at al.	One-bone forearm reconstruction using vascularized fibular graft for massive forearm soft-tissue and bone defect: case report.	J Reconstr Microsurg	20	285-289	2004
Ida K, Wada T, at al.	Crisscross CTL induction by SYT-SSX junction peptide and its HLA-A*2402 anchor substitute.	J Immunol	173	1436-1443	2004
Tsukahara T, Wada T, at al.	Identification of human autologous cytotoxic T-lymphocyte-defined osteosarcoma gene that encodes a transcriptional regulator, papillomavirus binding factor.	Cancer Res	64	5442-5448	2004
Soma T , Wada T, at al.	Thr(207) of claudin-5 is involved in size-selective loosening of the endothelial barrier by cyclic AMP.	Exp Cell Res	300-1	202-212	2004
Kawaguchi S, Wada T, at al	Phase I vaccination trial of SYT-SSX junction peptide in patients with disseminated synovial sarcoma.	J Transl Med	3-1	1	2005
井須和男	高齢者における悪性骨・軟部腫瘍に対する化学療法の適応。	日整会誌	78 巻	392-395	2004
松本誠一、川口智義 他	骨軟部肉腫の手術法	癌と化学療 法	31	1314-1318	2004

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
川口智義	The Concept of Curative Margin in Surgery for Bone and Soft Tissue Sarcoma	Clin. Orthop	419	165-172	2004
松本誠一、川口智義 他	高齢者骨・軟部肉腫の外科的治療と適応、	日整会誌	78	382-385	2004
小山晋一、川口智義 他	上腕骨近位端切除に伴う患肢温存手術の治療成績、	日整会誌	78	S630	2004
Yonemoto T, Tatezaki S, et al.	Multiple primary cancers in patients with osteosarcoma: The influence of anticancer drugs and genetic factors.	Am J Clin Oncol	27	220-224	2004
Imai R, Tatezaki S, et al.	Carbon ion radiotherapy for unresectable sacral chordomas.	Clin Cancer Res	10	5741-5746	2004
Kawaguchi S, Tatezaki S, et al.	Phase I vaccination trial of SYT-SSX junction peptide in patients with disseminated synovial sarcoma.	J Transl Med	3	1	2005
萩原洋子、 館崎慎一郎 他	大腿骨転子部に発生した悪性骨腫瘍に対する遊離血管柄付き腓骨移植を用いた再建術	整形・災害外科	47	405-410	2004
木村秀樹、 館崎慎一郎 他	肺転移症例に対する外科治療成績	癌と化学療法	31	1319-1323	2004
小久保晃伸、 高橋満 他	下肢悪性骨腫瘍に対し血管柄付き腓骨と加温処理骨を併用した再建法	整形外科	55	1535-1538	2004
山田健志、 高橋満 他	広範な骨髄浸潤を呈した成人発症後腹膜神経芽細胞腫の1例	癌と化学療法	31	2065-2068	2004
高木辰哉、 高橋満 他	骨転移の診断と最新治療：骨シンチグラフィ	骨・関節・靭帯	17	386-395	2004
中島浩敦、 高橋満 他	大腿骨近位転移性骨腫瘍に対する腫瘍切除・人工骨頭置換術の治療経験	関節外科	23	285-289	2004
鈴木喜貴、 高橋満 他	四肢長管骨骨幹部転移性骨腫瘍に対するアドリアマイシン混入セメントを併用した髄内釘による治療	臨床整形外科	39	79-83	2004
Ide Y, Iwamoto Y, et al.	Characterization of the genomic structure and expression of the mouse Apex2 gene.	Genomics	81	47-57	2003
Oda Y, Iwamoto Y, et al.	Nuclear expression of Y box-binding protein-1 correlates with P-glycoprotein and Topoisomerase II- $\alpha$ expression, and poor prognosis in synovial sarcoma.	J. Pathol	199	251-258	2003

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Saito T, Tanaka K, Iwamoto Y, et al.	Low-grade fibrosarcoma of the proximal humerus. A case report with a review of literatures.	Pathol.Int.	53	115-120	2003,
Nakatani F Tanaka K, Iwamoto Y, et al.	Idenitfication of p21(WA1/CIP1) as a direct target of EWS-Fli1 oncogenic Fusion protein.	J. Biol. Chem.	278	15105-15115	2003
Saito T, Iwamoto Y, et al.	Possible association between Tumor-suppressor gene mutations and hMSH2/hMLH1 inactivation in alveolar soft part sarcoma.	Human Pathol.	34	841-849	2003
Oda Y, Tanaka K, Iwamoto Y, et al.	Altered expression of cell cycle regulators in myxofibrosarcoma, with special emphasis on their prognostic implications.	Human Pathology	34	1035-1042	2003
Kawaguchi K, Iwamoto Y, et al.	Mechanisms of inactivation of the P16 INK4a gene in leiomyosarcoma of soft tissue: decreased p16 expression correlates with promoter methylation and poor prognosis.	J. Parhol.	201	487-495	2003
Naka T, Iwamoto Y, et al.	Skull base and nonskull base chordomas.	Cancer	98	1935-1941	2003
Matsunobu T, Tanaka K, Iwamoto Y, et al.	The prognostic and therapeutic relevance of p27kip1 in Ewing's family tumors.	Clin. Cancer Res.	10	1003-1012	2004
Saito T, Tanaka K, Iwamoto Y, et al.	PTEN/MMAC1 gene mutation is a rare event in soft tissue sarcomas without specific balanced translocations.	Int.J. Cancer	104(2)	175-178	2003
岩本幸英	特集 股関節周囲悪性腫瘍に対する患肢温存手術 一切除の分類、再建法、問題点一	骨・関節・靭帯	16	333-337	2003
松本嘉寛、田仲和宏、岩本幸英 他	悪性骨・軟部腫瘍の化学療法 化学療法の領域	最新のがん 化学療法	19	209-215	2003
岩本幸英	Ewing 肉腫治療の現状と分子標的治療の可能性	Pharmacia Scope	42	22-23	2003
岩本幸英	手指の腫瘍	Ortho Community	7	10-12	2003
岩本幸英	卒後研修講座 Ewing 肉腫の バイオロジー	整形外科	54	833-843	2003
播広谷勝三、松本嘉寛、岩本幸英	骨・軟骨腫瘍における決断分析	整形外科	54	935-940	2003
岩本幸英	permeated pattern (浸潤像) を示す悪性骨腫瘍	Ortho Community	8	10-12	2003

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
播戸谷勝三、 岩本幸英	腫瘍性病変	Orthopaedics	16	53-63	2003
田仲和宏、 岩本幸英	高悪性度骨軟部腫瘍の標準治療は何か	血液・腫瘍科	47	372-378	2003
Hiroshi Moritake, Hirokazu Chuman, et al.	Prognostic significance of elevated lactate dehydrogenase and creatine kinase in patients with rhabdomyosarcoma.	Med. Pediatr. Oncol.	40	187-197	2003
Umio Yamaguchi, Hirokazu Chuman, et al.	Sclerosing perineurioma: A clinicopathological study of five cases and diagnostic utility of immunohistochemical staining for GLUT1.	Virchows Arch.	443	159-163	2003
U Yamaguchi, H Chuman, et al.	Low grade malignant peripheral nerve sheath tumour: varied cytological and histological patterns.	J. Clin. Pathol.	56	826-830	2003
中馬広一	悪性線維性組織球腫	Jpn. J. Cancer Chemother.	30	626-633	2003
川井章、中馬広一 他	歩行解析から見た下肢悪性軟部腫瘍広範切除術の機能的予後	関節外科	22	196-203	2003
Kasai Y,Uchida A, et al.	Superelastic Ti-Ni alloy wire intramedullary nails for metastatic femoral pathologic fracture: A case report.	J. Surg. Oncol.	83	123-127	2003
Nakazokra S, Uchida A, et al.	Case report: Chondromyxoid fibroma arising at the clavicular diaphysis.	Anticancer Res.	23	3517-3522	2003
Iida K, Uchida A, et al.	Effect of retinoblastoma tumor suppressor gene expression on chemosensitivity of human osteosarcoma cell line.	Oncology Rep.	10	1961-1965	2003
Nakamura T, Uchida A, et al.	Case report: Recurrence of soft tissue MFH in bone due to minute intravenous tumor emboli detected by MRI.	Oncology Rep.	10	0957-1960	2003
Okamura N, Uchida A, et al.	Case report: Case of clear cell sarcoma surviving with the primary lesion for 20 years after resection of a metastatic lymph node.	Anticancer Res.	23	4197-4204	2003
Nishimoto K, Uchida A, et al	Surrounding muscle edema detected by MRI is valuable for diagnosis of intramuscular myxoma.	Oncology Rep.	11	143-148	2003
Imai Y, Uchida A, et al.	A case of a large Dermatofibrosarcoma protuberans successfully treated with radiofrequency ablation and transcatheter arterial embolization.	J. Dermatology	31	42-46	2003
名井陽、内田淳正 他	術中体外放射線照射自家骨移植法	別冊整形外科	43	152-157	2003

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Ueda T, Yoshikawa H, et al.	Overexpression of the Wilms' tumor gene WT1 in human bone and soft-tissue sarcomas.	Cancer Sci.	94	271-276	2003
Yamamura H, Yoshikawa H, et al.	Aberrant methylation and silencing of the calponin gene in human sarcoma cells.	Anticancer Res.	23	107-114	2003
Miyaji T, Yoshikawa H, et al.	Monoclonal antibody to parathyroid hormone-related protein induces differentiation and apoptosis of chondrosarcoma cells.	Cancer Letters	199	147-155	2003
Ishii T, Yoshikawa H, et al.	Unusual skeletal metastases from myxoid liposarcoma only detectable by MR imaging.	Eur. Radiol.	13	L185-L191	2003
Nakanishi H, Araki N, Yoshikawa H, et al.	Cystic synovial sarcomas: imaging features with clinical and histopathologic correlation.	Skeletal Radiol.	32	701-707	2003
Morimoto Y, Ozaki T, Inoue H, et al.	Single Nucleotide Polymorphism in Fibroblast Growth Factor Receptor 4 at Codon 388 is Associated with Prognosis in high-grade Soft Tissue Sarcomas.	Cancer	98	2245-2250	2003
Morimoto Y, Ozaki T, Inoue H, et al.	Splicing isoform of SYT-SSX fusion protein accelerates transcriptional activity and cell proliferation.	Cancer Letters	199	35-43	2003
Ohata N, Ozaki T, Inoue H, et al.	Extended total sacrectomy for sacral tumor.	Spine	29(6)	123-126	2004
Umehara N, Ozaki T, Inoue H, et al.	Influence of telomerase activity on bone and soft tissue tumors.	J. Cancer Res. Clin. Oncol.	30(7)	411-416	2004
戸口田淳也、長山聡、中村祐輔	軟部肉腫の遺伝子発現プロファイリング。	骨・関節・靭帯	16	375-378	2003
戸口田淳也 他	疾患研究の新たな展開と臨床応用ー基礎研究は本当に臨床に還元できるのか？Ⅱ. 腫瘍2. ゲノムからのアプローチ	整形外科	54	111-118	2003
Nakanishi H, Araki N, et al.	Cystic synovial sarcomas: imaging features with clinical and histopathologic correlation.	Skeletal Radiol.	32	701-707	2003
Kawaguchi S, Araki N, et al.	Extraskeletal myxoid chondrosarcoma: a Multi-Institutional Study of 42 Cases in Japan.	Cancer	97	1285-1292	2003
名越智、和田卓郎 他	股関節周囲悪性骨腫瘍切除後の血管柄付き腓骨移植術による股関節固定・骨盤輪再建術の成績	骨・関節・靭帯	16	369-373	2003
寺島嘉紀、和田卓郎 他	動脈瘤様骨嚢腫との鑑別が困難であった大腿骨骨肉腫の1例	整形外科	54	1297-1300	2003

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
田中香織、 和田卓郎 他	Microsatellite instability と p53 遺伝子異常を伴う骨肉腫を発症した両眼摘出後の両側性網膜芽細胞腫の 1 例	小児がん	40	68-71	2003
高畑成雄、 和田卓郎 他	体幹・近位骨に多発性に発生した Massive osteolysis の 1 例	北海道整災 外	45	13-16	2003
和田卓郎	連載「疾患研究の新たな展開と臨床応用」腫瘍—免疫学的アプローチ—	整形外科	54	351-358	2003
Tsunemi T, Wada T, et al.	Postoperative progression of pulmonary metastasis in osteosarcoma.	Clin. Orthop.	407	159-166	2003
Watanabe G, Wada T, et al.	Induction of tenascin-C by tumor-specific EWS-ETS fusion genes.	Genes Chromosomes Cancer	36	224-232	2003
Tsuji H, Wada T, et al.	Concurrent induction of T-cell activation and apoptosis of osteosarcoma cells by adenovirus-mediated B7-1/Fas chimeric gene transfer.	Cancer Gene Ther.	10	717-725	2003
Kaya M, Wada T, et al	Concomitant tumor resistance in patients with osteosarcoma- a clue to new therapeutic strategy for osteosarcoma.	J. Bone Joint Surg (Br)	86(1)	143-147	2004
Nabeta Y, Wada T, et al.	Recognition by cellular and humoral autologous immunity in a human osteosarcoma cell line.	J. Orthop. Sci.	8	554-559	2003
Satoshi Kawaguchi, Kazuo Isu	Extraskeletal Myxoid Chondrosarcoma. A Multi-Institutional Study of 42 Cases in Japan.	Cancer	97	1285-1292	2003
井須和男	骨肉腫骨転移の臨床研究	日本臨床	61	635-638	2003
川口智義 他	四肢悪性腫瘍の診断に際して MRI が果たす役割（特に治療的診断について）	J.MIOS.	27	53-63	2003
Yonemoto T, Tatezaki S, et al.	Marriage and fertility in long-term survivors of high grade osteosarcoma.	Am. J. Clin. Oncol.	26	513-516	2003
Yonemoto T, Tatezaki S, et al	Longterm survival after surgical removal of solitary brain metastasis from osteosarcoma.	Int. J. Clin. Oncol.	8	340-342	2003
米本司, 舘崎慎一郎, 他	骨腫瘍切除後の人工関節によらない下肢機能の再建: 回転形成術について.	別冊整形外 科	43	124-129	2003
萩原洋子, 舘崎慎一郎, 他	患肢温存拡大骨盤半截術を施行した腸骨骨肉腫の 1 例	整形外科	54	1283-1287	2003
高橋 満、 片桐浩久・浜名俊彰	転移性脊椎腫瘍に対する放射線治療の適応とその成績	臨床整形外 科	38	755-761	2003



発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
片桐浩久・高橋 満・高木辰哉	転移性骨腫瘍に対する治療体系—原発巣検索手順と予後予測に対する戦略—	関節外科	22	46-54	2003
Saito T, Iwamoto Y, et al.	Matrix metalloproteinase-2 expression correlates with morphological and immunohistochemical epithelial characters in synovial sarcoma.	Histopathology	40	279-285	2002
Saito T, Tanaka K, Iwamoto Y, et al.	APC mutations in synovial sarcoma.	J. Pathol.	196	445-449	2002
Saito T, Tanaka K, Iwamoto Y, et al.	Possible association between higher $\beta$ -catenin mRNA expression and mutated $\beta$ -catenin in sporadic desmoid tumors: Real-time semiquantitative assay by TaqMan PCR.	Laboratory Invest.	82	97-103	2002
Sakamoto A, Iwamoto Y, et al.	Calponin and h-caldesmon expression in atypical fibroxanthoma and superficial leiomyosarcoma..	Virchows Arch.	440	404-409	2002
Itokawa T, Iwamoto Y, et al.	Antiangiogenic effect by SU5416 is partly attributable to inhibition of Flt-1 receptor signaling.	Molecular Cancer Therapeutics	1	295-302	2002
Matsumoto Y, Tanaka K, Iwamoto Y, et al.	Possible involvement of the vascular endothelial growth factor-Flt-1-Focal adhesion kinase pathway in chemotaxis and the cell proliferation of osteoclast precursor cells in arthritic joints.	J. Immunology	168	5824-5831	2002
Sakamoto A, Tanaka K, Iwamoto Y, et al.	Vascular compression caused by solitary osteochondroma: useful diagnostic methods of magnetic resonance angiography and Doppler ultrasonography	J. Orthop. Sci	7	439-443	2002
Tanaka K, Iwamoto Y, et al.	High-dose chemotherapy and autologous peripheral blood stem cell transfusion after conventional chemotherapy for patients with high-risk Ewing's tumors.	J. Orthop. Sci.	7	477-482	2002
Sakamoto A, Iwamoto Y, et al.	$\beta$ -catenin accumulation and gene mutation in Exon 3 in dedifferentiated liposarcoma and malignant fibrous histiocytoma.	Arch Pathol. Lab. Med.	126	1071-1078	2002
Kawaguchi K, Iwamoto Y, et al.	Molecular analysis of p53, MDM2, and H-ras genes in osteosarcoma and malignant fibrous histiocytoma of bone in patients older than 40 years.	Mod. Pathol.	15	878-888	2002
Oda Y, Iwamoto Y, et al.	Reassessment and clinicopathological prognostic factors of malignant fibrous histiocytoma of soft parts.	Pathol. Int.	52	595-606	2002
Sakamoto A, Tanaka K, Iwamoto Y, et al.	Solitary lymphangioma of the femur. A case report	J. Orthop. Sci.	7	504-504	2002

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Saito T, Tanaka K, Iwamoto Y, et al.	Low-grade fibrosarcoma of the proximal humerus. A case report with a review of literatures	Pathol. Int.	53	49-54	2002
岡田 文、田仲和宏、岩本幸英 他	有頭骨に発生した動脈瘤様骨嚢腫の1例	整形外科と災害外科	51	765-768	2002
美浦辰彦、田仲和宏、岩本幸英 他	孤立性形質細胞腫の2例	整形外科と災害外科	51	773-778	2002
田仲和宏、岩本幸英 他	悪性骨軟部腫瘍初診時M1症例の治療成績	整形外科と災害外科	51	170-174	2002
岩本幸英	骨腫瘍の診断・治療の現状と展望	日本医師会雑誌	126	674-677	2002
坂本昭夫、岩本幸英	腫瘍マーカーの読み方の実際 —骨腫瘍—	臨床と研究	78	72-75	2002
坂本昭夫、岩本幸英	GNAS1遺伝子変異の有無による線維性骨異形成と骨線維性異形成の鑑別	骨・関節・靭帯	15	65-68	2002
田仲和宏、岩本幸英	悪性骨腫瘍の化学療法	骨・関節・靭帯	15	608-616	2002
田仲和宏、岩本幸英	Ewing肉腫	整形外科	21	118-121	2002
岩本幸英	癌の骨転移の病態と治療	骨転移—病態・診断・治療	17	1-12	2002
中馬広一	悪性軟部腫瘍	癌と化学療法	29	1081-1094	2002
Tomoda R, Uchida A, et al.	Telomerase activity and human telomerase reverse transcriptase mRNA expression are correlated with clinical aggressiveness in soft tissue tumors.	Cancer	95	1127-33	2002
Ueda T, Yoshikawa H, et al	Overexpression of the Wilms' tumor gene <i>WT1</i> in human bone and soft-tissue sarcomas.	Cancer Science(Jap. J.Cancer Res.)	94(3)	271-276	2003
Ozaki T ,et al.	Genetic imbalances revealed by comparative genomic hybridization in osteosarcomas.	Int. J. Cancer	102	355-365	2002
Ozaki T ,et al.	Population-based genetic alterations in Ewing's tumors from Japanese and European Caucasian patients.	Ann. Oncol.	13	1656-64	2002

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Nakanishi H, Araki N, Ueda T, Yoshikawa H ,et al.	Clinical implications of serum C-reactive protein levels in malignant fibrous histiocytoma.	Int. J. Cancer	99	167-170	2002
Sato Y, Wada T, et al.	Improved generation of HLA class I/peptide tetramers.	J. Immunol. Methods	271	177-184	2002
Sato Y, Wada T, et al.	Detection and induction of CTLs specific for SYT-SSX-derived peptides in HLA-A24(+) patients with synovial sarcoma.	J. Immunol.	169	1611-1618	2002
Tsuji H, Wada T, et al.	Adenovirus-mediated in vivo B7-1 gene transfer induces anti-tumor immunity against pre-established primary tumor and pulmonary metastasis of rat osteosarcoma.	Cancer Gene Ther.	9	747-755	2002
Akatsuka T, Wada T, Isu K, et al.	ErbB2 expression is correlated with increased survival of patients with osteosarcoma.	Cancer	94	1397-1404	2002
Kaya M, , Isu K, et al.	Increased pre-therapeutic serum vascular endothelial growth factor in patients with early clinical relapse of osteosarcoma.	Br. J. Cancer	86	864-869	2002
Tsuchiya H, Isu K, et al.	Effect of timing of Pulpnary metastases identification on prognosis of patients with osteosarcoma: The Japanese musculoskeletal oncology group study.	J. Clinic. Oncology	20	3470-3477	2002
川口智義 他	軟部肉腫治療に対する整形外科的アプローチ	小児外科	34	389-398	2002
真鍋淳、川口智義 他	骨軟部肉腫に対する安全な切除縁と術前療法による切除縁縮小－切除縁登録の解析から－	臨床整形外科	37-5	541-547	2002
Kimura K, Tatezaki S, et al	Hemiarthroplasty of theelbow with a vascularized fibular graft after excsion of Ewing' s sarcoma of the proximal ulna: a case report.	Jpn. J. Clin. Oncol	32	430-434	2002
米本司, 館崎慎一郎 他	骨肉腫の長期生存者における結婚と生殖能について	骨・関節・靭帯	15	1273-1277	2002
高橋満 他	軟部肉腫に対する動注療法	臨床整形外科	37	571-576	2002